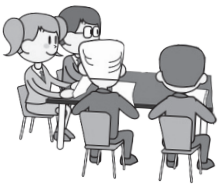

6月定例会における
各常任委員会での主な質疑

提案された議案は、所管の各委員会に付託して審査を行いました。

総務文教常任委員会

◆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、２０１４年度政府予算に係る意見書採択の要請について

審査経過

委員から「学力については、人数の少ないほうが指導は行き届いている。」、「人間は社会に出てから学力だけでは生きていけない。それ以外の社会性や競争力、協調性が人生を大きく左右することもある。50人以下ぐらいの学級のほうが、社会性や競争力が生まれる。」などの意見があったが、審査の結果、採択すべきものと決しました。

生活福祉常任委員会

◆子ども・子育て会議条例制定

問 この会議はどのような内容を協議していくのか。

答 特定教育保育施設及び特定地域型保育事業所の利用定員の決定及び子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり意見を聞くこと、また策定後、その事業計画に沿って事業が進展しているかどうかを検証していく。

問 保育所等の統廃合、廃止などまでその会議で踏み込んで協議していくのか。

答 就学前の保護者に対して、どのような施設に子供を行かせたいのか、需要のアンケート調査を考えており、需要と現状と比較して、進めて行く予定であるが、認定こども園等々の需要が大きければ、今の施設を転換していく方法も考えていく必要がある。また、市内には公立保育所が12園、民間の保育所が14園、公立の幼稚園が19園あるが、その総数は他市に比べて非常に多いので、その辺のこともあわせて検討する必要があると考えている。

◆兵庫県市町交通災害共済組合規約の変更

問 本市の加入者が約1万1千人というのは、もう魅力がなくなってきている制度と感じる。本市も将来的には脱退することも起こり得るのではないか。もしこの共済を当局が奨励しようとするなら、もっと方法を考えるべきではないか。

答 現行の制度で本市の見舞金は高額な支給を受けていることから、今後の推進については色々と工夫して、少しでも加入者の増加につなげたい。

◆平成25年度たつの市一般会計予算（第1号）

問 身体障害者補装具支給事業は、難聴児に対しての補聴器の交付交換事業で、耳かけ型3人分、耳穴型1人分との説明だが、その人数の根拠は何か。

答 市民から2件の問い合わせがありどちらも耳かけ型を希望されているため、耳かけ型2人分と予備でそれぞれ1人分を計上した。

問 風しん予防接種助成は、何人分を予定しているのか。

答 １２００名分を予定している。なお、自己負担は3，０００円である。

問 すでに予防接種を受けた人にはどのように対応するのか。

答 平成25年4月1日から6月30日の間に接種した人には遡及して費用の一部を還付する。

問 対象者は19歳以上の妊娠を希望している人とその主人との説明であるが、家族は対象にはならないのか。

答 あくまでもこの事業は緊急対策で、本市としては女性に抗体を持ってもらい、そして赤ちゃんを守ることが根本であるため、家族としてはその妊婦に一番近い夫という条件をつけている。

経済建設常任委員会

◆平成25年度たつの市一般会計予算（第1号）

問 県から交付される起業支援型雇用創造基金事業補助金について、過去にも同じ種類の補助金が交付されたこともあるが、実際にどのような事業に活用し、どれほどの効果を見込んでいるのか。

答 当補助金を活用して、ささ営農組合と西播磨サッカー協会にそれぞれ新規雇用を前提に業務委託をするもので、ささ営農組合で雇われた方には、地域特産物定着推進業務として新設予定の加工場の運営に携わってもらい、また、サッカー協会で雇われた方には、地域スポーツ振興業務として地域スポーツの振興やイベントの開催等に携わってもらうことになる。

問 今年度は委託料で雇用できるが、来年度以降の人件費について、委託される側としてはどのような対応を考えているのか。

答 今年度にささ営農組合で2名、サッカー協会で1名の雇用を予定しているが、単年度事業であるため、来年度以降はそれぞれの対応が異なる。まずは、1年間、この委託料を活用して地域振興に取り組んでもらう。